

民間の単科精神科病院における ASD/ADHD症例の受診から診断までの検討



こころと身体のクリニック

医療法人社団

五稜会病院

中島公博

はじめに

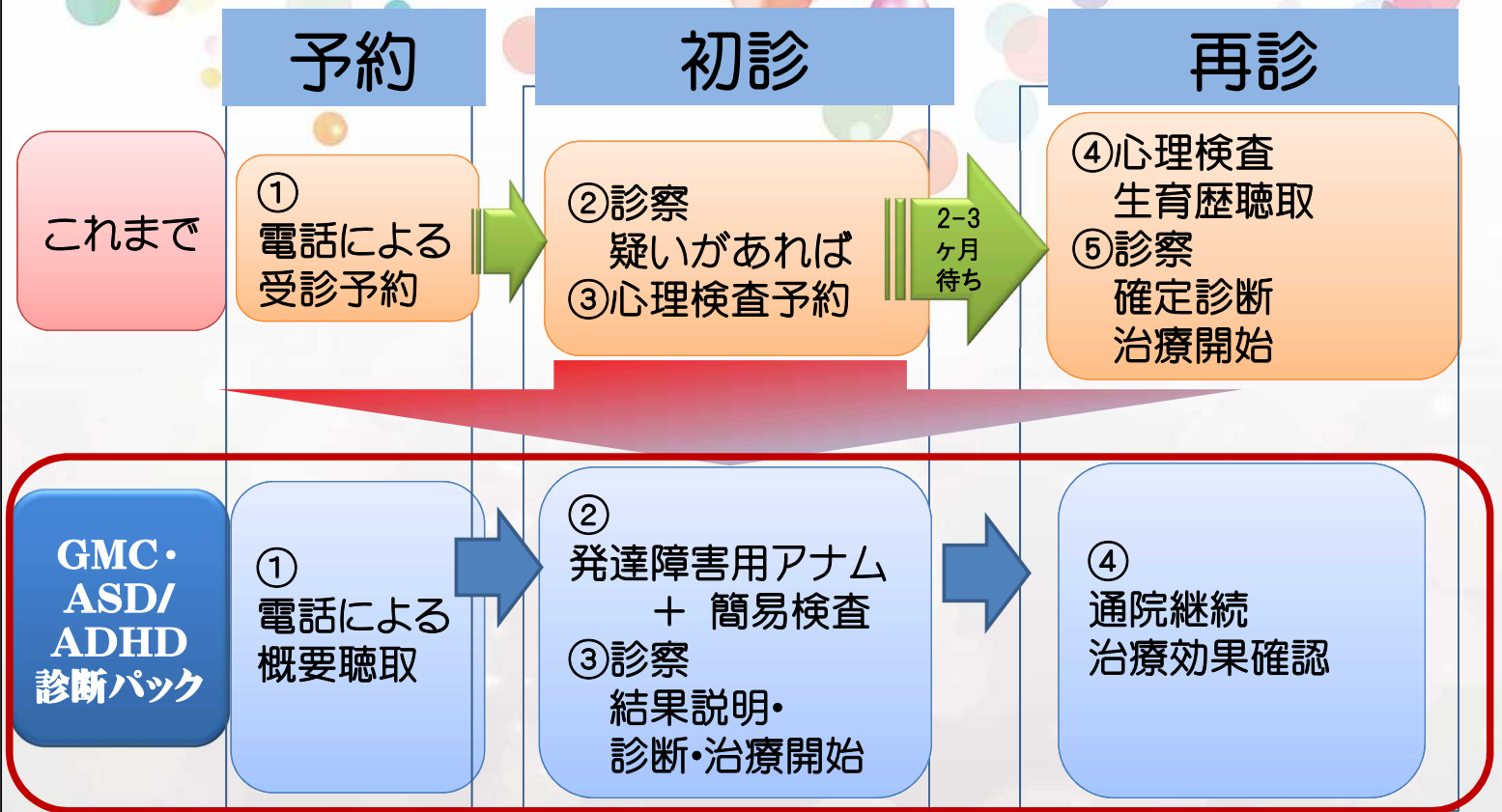
開示すべきCOIはない。

- 五稜会病院(以下、当院)は193床の単科精神科病院である。当院では、自閉症スペクトラム障害(以下、ASD)、注意欠如・多動性障害(以下、ADHD)疑いの新規患者が増加し、心理検査実施の待機時間等により確定診断までに相当な時間を要していた。そこで、電話での受診予約から診察までの効率化を試みたため、報告する。

対象と方法

- 対象:平成30年4月～12月に、ASD/ADHDを主訴として当院を受診した57名(男性31、女性26、平均年齢27.9歳)。
- 方法:初診時に生育歴の詳細な情報聴取と簡易検査を実施する枠を新規に開設(以下、GMC・ASD/ADHD診断パック)。心理検査結果産出までの時間短縮および不要な検査の削減を図った。

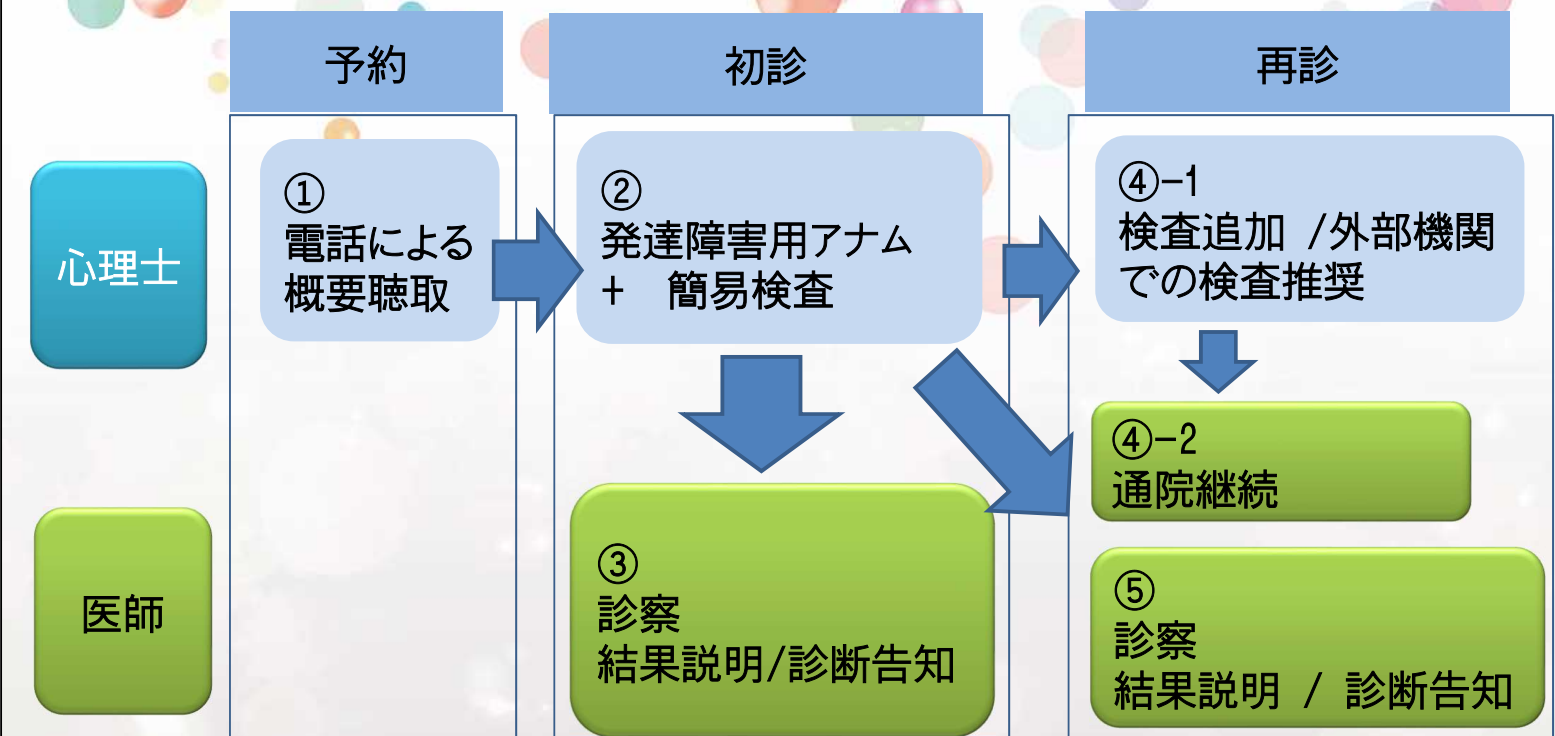
GMC・ASD/ADHD診断パックの概要



初診時に情報聴取+簡易検査実施により、
確定診断+治療開始⇒再来で治療効果判定

3

GMC・ASD/ADHD診断パック



- 初診時に発達傾向の情報聴取+簡易検査実施
- 結果産出までの時間を短縮と不必要な検査の削減
- 電子カルテ付箋に 心理士から全体的な印象記載

4

GMC・ASD/ADHD診断パック実施例

57例 12～50歳 平均 27.9歳 男 31 女 26

平成30年4月～12月

検査	AQ	ASRS (パートA)	ASRS (パートB)	AASS	CAARS	CONNERS	WAISIII IQ
例数	49	22	22	32	5	5	4
最小	14	0	0	25			84
最大	43	6	12	64			104
平均	30	3.8	4.9	42.63			89.25
カットオフ	33	4			ADHD可能性大		
以上	21	14			5	5	
%	42.9%	63.6%			100.0%	100.0%	

AQ: カットオフ33点以上は4割。ASRS・AASSでは6割以上、CAARS・CONNERSでは全例がADHDの可能性大との結果。

5

GMC・ASD/ADHD診断パック導入前後

		検査 実施数 ¹⁾	初診からの 検査 待機時間	初診から 診断までの 所要時間	心理士の 検査処理 所要時間
導入前		4～5	3ヶ月	4ヶ月	7時間
導入後	検査追加 なし	2～4	0	3時間	2.5時間 ²⁾
	検査追加 あり	2～5	1ヶ月	1.5～2 ヶ月	4時間

1) 実施検査: 第1選択肢 AQ-J and PARS-TR短縮版
and AASS or CAARS or CONNERS

第2選択肢 WAIS-III or WISC-IV

2) 病歴聴取およびまとめの時間を含む

6

考察

● ASD/ADHD診断の困難性

- ◆ 小児期の客観的症状の聴取が困難なケース、多様な併存障害の存在
- ◆ 主観的認識により症状のバイアスが掛かりやすい、バイオマーカーがない
- 初診時には、父母が同伴しないことや心理検査実施までに相当な日数がかかり、診断から治療開始までに時間を要する。
- 安易な診断は、日常生活課題の医療化を促進しかねない危険がある。適切な診断と十分な心理検査や構造化面接の折り合いが必要である。

「GMC・ASD/ADHD診断パック」

- ◆ 電話予約の段階で、ASD/ADHDの可能性が高いかどうか把握
- ◆ 初診時に心理士からの生育歴聴取、心理検査の実施
- ◆ その後、精神科医による診察、治療方針決定、治療開始に繋げる。

7

まとめ

- ASD/ADHDの患者数が増えていると実感する。
- ASD/ADHDは、診察対象としていない医療機関も多く、また、対象であっても予約までの期間が非常に長い。
- 当院で開発した「GMC・ASD/ADHD診断パック」は、初診時に診断が確定し、早期の治療開始が可能。
- 患者にとって、非常に利便性の高い方法である。

文献

- (1) 小野和哉：成人ADHDの診断—過剰診断と過少診断—
臨床精神医学46、2017
- (2) 木本啓太郎：自閉症スペクトラム症 診断—
鑑別診断、併存症を含めて— 最新医学73、2018

8